



2021年12月9日

各 位

会社名 株式会社 オオバ
代表者名 代表取締役社長執行役員 辻本 茂
(コード：9765 東証第1部)
問合せ先 上席執行役員 片山 博文
(TEL. 03-5931-5888)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定される東京証券取引所株式会社の市場取引区分の見直しに関して、本日プライム市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点（2021年6月30日）において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

○当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準を充たしておりません。当社は、流通株式時価総額に関しては2022年までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (1単位：100株)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)	時価総額 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	—	117,838単位	95.4億円	64.5%	0.3億円	—
上場維持基準	—	20,000単位	100億円	35%	0.2億円	—
計画書に 記載の項目	—		○			—

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社は、流通株式時価総額基準充足に向けた基本方針として、①流通株式数の増加、②業績拡大に伴う株価向上の2つの課題に取り組んでまいります。

①流通株式数の増加のための施策として、当社株式を保有している大株主（特に国内の普通銀行、保険会社、事業法人等）に対し、当社より、各大株主が保有している当社株式の取引市場での売却を依頼し、流通株式比率の更なる向上に努めてまいります。

②業績拡大に伴う株価向上のための施策として、2019年7月に公表した中期経営計画（2020/5期～2023/5期）に掲げる「建設コンサルタント業務の拡大、事業ソリューション業務の成長」を着実に実行することにより、増収増益を図り、一株当たり当期純利益（EPS）の向上を目指します。

営業利益段階では前期（2021年5月期）まで10期連続増益を更新しており、当期（2022年5月期）も業績予想では、営業利益1,400百万円とし、中期経営計画最終年度（2023年5月期）の営業利益（計画）1,400百万円を1年前倒しで達成すべく、邁進しております。

中期経営計画において、技術資格保有者の増大・新技術の活用等により、技術力の更なる向上を図るとともに、収益機会の拡大を目的とした業務代行・土木管財等コンサルティング業務への取組

みを強化しています。当社の持続的成長の要諦は、技術力の向上であり、その礎となる技術資格保有者（①技術士、②RCCM（シビルコンサルティングマネージャ）、③1級建築士）は、每期着実に増加しており、中期経営計画最終年度の技術資格保有者 500 名体制の構築を目指しています。

また、成長スピードの加速を目的に M&A を推進すべく、自社ネットワークに加え、取引金融機関、M&A 仲介会社を活用しながら、企業価値向上に資する企業買収（水平型 M&A、垂直型 M&A）を積極的に検討してまいります。

加えて、株主の皆様との長期的な信頼関係の構築のため、決算説明会の開催、取材への対応等、IR 活動の一層の強化を図り、建設的な対話を通じて得られた情報や知見を企業経営に活かすとともに、積極的に投資判断に必要な情報をご提供してまいります。

なお、株主還元方針は中期経営計画に記載のとおり、総還元性向50%程度を当面の目途とし、その時々の経済情勢や財務状況、業績見通し等を総合的に勘案し、増配や自己株式取得、自己株式消却を柔軟に検討し実行することにより、株主利益の拡大に努めてまいります。

■中期経営計画（2020/5期～2023/5期）

http://www.k-ohba.co.jp/pdf/about/plan_20190711.pdf

（単位：百万円）

	2015年5月期 （参考）	2020年5月期 （実績）	2021年5月期 （実績）	2022年5月期 （当期業績予想）	2023年5月期 （計画最終年度）
連結売上高	15,402	15,202	15,862	16,000	17,500
連結営業利益	790	1,144	1,334	1,400	1,400
有利子負債	2,437	120	60	0	0
技術資格保有者	296	393	385	420	500
（うち、技術士）	(145)	(195)	(205)	(217)	(250)

※技術資格保有者：①技術士、②RCCM（シビルコンサルティングマネージャ）、③1級建築士

以 上